

令和4年度「愛のひと声・あいさつ運動」実施結果

1、趣旨

地域の方々が、青少年に声をかけ、あいさつを交わして愛情を示すことは、青少年の心に「いつも気にかけてくれる」「心配してくれている」という意識を育て、迷いが生じた時に「自制する力」と「がまんする力」を育てることにつながります。

愛のひと声・あいさつ運動は、近隣の子ども達の名前・顔を覚えることからはじめ、地域社会で声をかけあい、あいさつを交わす良い習慣を築き、青少年を非行から守り、芯の強い青少年を育てるための活動です。

2、実施結果

活動実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

団体名	実施報告数	※うち夜間 パトロール実施	活動日数（延）	参加人数（延）
町会・自治会	108 団体	67 団体	9,706 日	61,519 人
学校 PTA 関係者	43 団体	9 団体	4,203 日	20,276 人
合計	151 団体	76 団体	13,909 日	81,795 人

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつ、少しずつ日常の生活が緩和されました。町会・自治会やPTA関係者、青少年育成推進員など、青少年に関わる団体の皆様に、感染対策を講じながら活動していただいたことに感謝申し上げます。

実施形態はさまざまで、通学路において、小・中学校の登下校時の声かけや見守り、町内巡視に合わせた子ども達への声かけや見守り活動が多くありました。また、夜間パトロールを実施している団体も増えてまいりました。

この運動を通して「子ども達に毎日あいさつをすることで、子ども達と地域の保護者のコミュニケーションがとりやすくなり、親近感がわいた」「進んで子ども達の方からあいさつをする習慣がついてきた」「地域の防犯対策により夜間出歩いている子を見かけなくなった」「学校、家庭、地域の人々の参加のもと互いに協力し合い活動を実施し効果を挙げている」等、声かけやあいさつを続けることで、お互いに良い関係を生んでいるとの声が寄せられました。

青少年対策室では、青少年が心身ともに健やかに成長できる環境づくりを推進するため、「地域の子どもは地域で守り育てる」「大人が変われば子どもも変わる」を基本に、地域社会が一体となり「愛のひと声・あいさつ運動」や「非行防止キャンペーン」などの事業を展開しています。

今後におきましても、多くの関係団体・機関の皆さまのご理解、ご協力を得ながら、青少年健全育成及び非行防止の推進に取り組んでまいります。